

資料番号	1
------	---

令和7年11月19日
 課 名 警察本部生活安全部生活安全総務課
 担当者 課長 竹重
 内 線 3010

「減らそう犯罪」第6期ひろしまアクション・プランの審議等 における意見への対応について

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第6期ひろしまアクション・プラン（素案）について、警察・商工労働委員会における集中審議や県民意見募集（パブリックコメント）での意見を踏まえ、次のとおり対応する。

2 意見聴取状況

(1) 県議会（警察・商工労働委員会）における集中審議

- ア 審議年月日
令和7年10月17日
- イ 意見と対応方針
別紙1のとおり

(2) 県民意見募集（パブリックコメント）

- ア 実施期間
令和7年10月1日（水）から同月31日（金）までの1か月間
- イ 総意見数
12人14件
- ウ 意見とプランの考え方
別紙2のとおり

3 今後のスケジュール

- 令和7年11月 最終案策定
- 令和7年12月 「広島県「減らそう犯罪」推進会議」において最終案の審議

	意見の内容	対応方針	修正頁
1	インターネット技術やサービスが進化していく中において、SNSを利用する子供たちを、犯罪の被疑者にも被害者にもさせないために、子供に対するインターネットリテラシー教育やフィルタリング等の対策など、SNSに起因する犯罪から子供を守る取組に努められたいこと。	フィルタリング利用促進などSNSに起因する犯罪から子供を守る取組を推進すること、「意識づくり」「環境づくり」双方の領域で取組を推進することを明記する。	9 10 27
2	防犯ボランティア団体や企業の防犯CSR活動の活性化を重視し、地域で活動するボランティアへの警察官からのねぎらいの声掛けなどモチベーションの維持・向上に取り組むとともに、変わりゆく社会に対応したサイバー空間におけるボランティア活動の醸成にも取り組み、様々な団体や企業が参加し、積極的に活動できるようにするための各種施策など、これまで以上の支援に取り組まれたいこと。	地域で活動する防犯ボランティア活動の意欲維持・向上のため、活動される方への声掛けや表彰など各種支援に取り組むほか、サイバー防犯ボランティアへの情報提供や活動支援など各種取組を行うことを明記する。	26
3	特殊詐欺とSNS型詐欺の統計及びその公表について、各種メディアにおいて被害件数、被害額も分けて報じられており、県民が詐欺被害に対して過少評価するおそれがあることから、報道発表の際に両方合わせた被害件数、被害額も出すなど、県民に誤解を与えないような方法を検討されたいこと。	特殊詐欺、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害状況を公表する際は、双方の合計被害件数及び被害額を付記するなどし、誤解を生じないように努める。	-
4	パブリックコメントにおいて県民から寄せられた意見や、これまでの委員会において意見してきた事業者との連携の観点なども踏まえて計画を策定するとともに、様々な機会を利用して策定した計画を周知し、事業者、学校なども含めた県民全体で犯罪を減らしていこうという機運の醸成を図られたいこと。	策定した計画は、教育委員会や市町、協力団体の協力を得るほか、公式 SNS やホームページ、ポスターなどで周知し、県民総ぐるみで「減らそう犯罪」運動を推進するという機運の醸成を図る。	-
5	このアクション・プランは今後5年間の基本計画となることから、よりよい計画とするために引き続きしっかりと検討されるとともに、刑法犯認知件数の減少や体感治安の向上に向け、引き続き様々な対策を取り続け、「日本一安全安心を実感できる広島県の実現」に取り組まれたいこと。	委員からの意見及び県民意見を十分に考慮して最終案を策定した上で、計画期間中は施策の進捗状況を適宜検証し、目標達成に向けて効果的な取組を推進する。	-

1 寄せられた御意見とプランの考え方

(1) 第2章（社会情勢の変化）関係

○ 防犯意識づくりの必要性

御意見		プランの考え方
1	田舎では住民と警察の接点はほとんどなく、警察と関わる機会がないため、防犯の意識づくりは極めて難しいと思う。	防犯教室や各種イベント、広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」などにより防犯情報を積極的に発信するほか、自治体や町内会、教育委員会・学校など多様な主体と連携して地域ごとの特性に応じた取組を推進し、防犯意識の醸成を図ります。

(2) 第3章（目標と基本的方向）関係

○ 重点取組

御意見		プランの考え方
2	重点取組について、具体的にどのようなものにするのか、住民は何をしたらよいのかということ、分かりやすい具体例を示してほしい。	本プランでは、施策体系の小項目ごとに、県民の皆様や事業者の方への具体的な行動の提案としての呼び掛けを掲げています。 取組を推進していく中で、県民の皆様にとっていただきたい行動の個々具体的な例をお示ししていきます。

(3) 第4章（施策の展開）関係

ア 安全安心なまちづくり

○ 意識づくり

御意見		プランの考え方
3	学校や福祉施設、商業施設等、逃げ場の少ない所で発生する犯罪では普段から従業員や関係者の防犯意識を高く持っておかないといけない。 そのためには、各事業者や学校に警察官が出向き、防犯指導やもしもの時に備えての対応道具等を提供ないし提案して普段からの備えを徹底すべきだと思う。	警察では、防犯対策に関する情報を発信するとともに、市町、町内会、学校や事業者など多様な主体と連携し、防犯機器の実物を用いた説明や犯罪手口の実演等により分かりやすく、具体的な防犯行動が身につく参加・体験型の防犯講習会や訓練を推進していきます。 本プランにおいても、「多様な主体と連携した防犯講習会等の開催」を施策の柱として掲げ、効果的な資機材の活用方法を含む防犯指導を行います。
4	「老若男女問わず防犯アラームの携帯」の啓発活動を行っていただきたい。 周囲を観察警戒し、「防犯アラームの紐に手を掛ける」という危機回避のための行動、そんな講習も併せて開いていただきたい。	

○ 地域づくり

御意見		プランの考え方
5	「減らそう犯罪」第6期プランでは、見守り活動の活性化や子どもの安全確保が重点に掲げられているが、子育て世代の視点を取り入れることでさらに効果的になると考える。 共働き家庭では学童保育の費用負担や利用環境の問題から子供が自宅で留守番するケースが増え、外遊びの減少やデジタル機器利用の増加が進んでいる。 解決策として、段階的・試験的に ①既存施設の活用 ②安全な見守り体制の確保 ③保護者が家庭に居られる仕組み ④学校の長期休暇の見直し を進めることで、安全・安心な地域づくりに繋がる。	子供の安全を守るには、地域で暮らす人々が互いに見守り、支え合う見守り機能を再生・強化し、地域の「犯罪抑止力」の向上が重要です。 しかしながら、高齢化や担い手不足により防犯ボランティア構成員数は減少しています。 本プランでは、登下校プランを踏まえた防犯活動など多様な世代が見守り活動に参加するための取組や、多様な主体が日常生活の中で気軽に行うことのできる「ながら見守り活動」を促進します。 通勤やウォーキング、買い物、犬の散歩などの日常生活を送りながら、防犯の視点を持って子供達の見守りを行っていただけるよう広報活動を推進します。 また、幅広い世代に対して防犯ボランティア活動への参加を促し、参加される方がやりがいを持って地域の安全安心の確保に取り組めるよう、支援の一層の充実に努めます。
6	防犯は行政や警察だけでは限界があるので、地域の人々が「自分ごと」として動ける仕組みが必要となる。 防犯は人の温かさが大事で、孤独に寄り添える地域の繋がりを行政がどう構築するかを考えないと真の「安心な広島」にはならないと思う。	
7	年々見守り活動をしている方が減少し、ほとんどが高齢者となっている。 子育て世代が毎日、毎回でなくてもよいので、登下校時の児童見守り活動に参加してほしい。	

○ 環境づくり

御意見		プランの考え方
8	犯罪を少しでも減らそうとするならば、防犯カメラは必要だと思うので、子供達が集まる場所・道路等に設置して欲しい。	防犯カメラは、公共空間等における犯罪の抑止効果をもたらすとともに、犯罪が発生した場合の犯人の検挙活動にも極めて有効なツールです。 広島県では、平成 30 年に防犯カメラの適切な設置と効果的な活用を目的とした「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を策定し、県内に広く防犯カメラの設置が促進されるよう働きかけを行っております。 本プランでも引き続き、防犯カメラの設置促進の働き掛けを推進します。

○ 警察活動の強化

御意見		プランの考え方
9	犯罪抑止についてパトロールの頻度を上げ、パトロール活動の存在や認知度向上に努めていただきたい。	警察活動におけるパトロール活動や職務質問は、犯罪を企てている者に対する牽制・予防的な効果があり、犯罪の発生を未然に防ぎます。 犯罪や交通事故の発生状況、県民の要望等に基づいた計画的なパトロール活動を実施し、交通事故の予防活動や防犯指導を含めた職務質問により、犯罪の検挙及び抑止対策を推進します。
10	人気の無い道路や大通りから外れた道等、犯罪が隠れている可能性が高いエリアで職務質問を強化する。 歩行者や自転車利用者に対しての交通指導や防犯指導のための声掛け等が更に重要になってくる。	

※ 総意見の内、プランに関する意見 10 件（8 人）の内容について原文を一部要約して掲載。なお、具体的な内容を判断できなかったもの、県の業務対象外、パブリックコメント制度そのものに対する意見については、掲載していない。